

2021年10月18日

あおぞら投信株式会社

「画面越し 空気を伝える 技磨き

セミナー講師 歌い踊るや」

昨年(2020年)4月の緊急事態宣言により、私は在宅勤務を開始しました。それとともにオンラインミーティングのアプリを使い始めて1年半となります。Zoom、Webex、Teamsなど相手の方々に合わせて使っていますが、自宅のWi-Fi環境やマイク付きイヤホンなど様々な小道具を整えてきました。会議だけではなく、研修会やお客さま向けのセミナーまでもがこれまでの対面(リアル)からオンラインへと移行してきています。現時点で緊急事態宣言は明けていますが、今後を考えたときに以前のようにすべてがリアルに戻ることはないでしょう。どのような姿を想像すればよいのでしょうか。

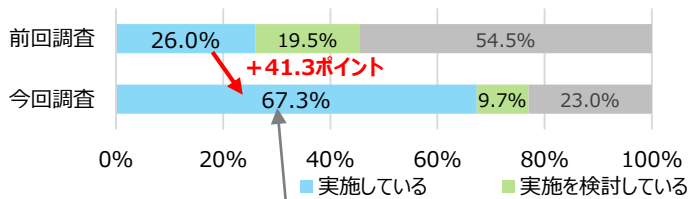
リアルからオンラインへのシフトと同時に起こっていることはペーパーレスです。紙のもつ質感やページをめくるドキドキ感といったことは全く消えることはないでしょう。ただし、ビジネス上のコミュニケーションの中で最も変化した内外ボーダーレスのことを考えれば、そもそも紙は介在しないことの方が多いたとも言えます。海外出張がストップしても海外との連携はさらに強まっており、かえって接触頻度は高まっていると思います。これは仕事のスピードアップにつながっており、これまでのように移動時間が不要になったことで仕事そのものに充てる時間が増えているのです。その分常に仕事ができることのストレスも生まれており、これまでとは異なる時間コントロールが必要だと思います。オフィス(職場)というものの意味もよく考える必要があるでしょう。オンラインミーティングの課題は、異なる意見を伝え合うことの難しさや、摩擦を受け入れる空気感などをどのように作っていくことができるかです。またオフィスでの雑談こそが仕事の共有であり、考えの共感を作ることができるのです。このことに気づかせてくれたという意味において、コロナ禍の状況はピンチをチャンスに変える時だと考えるのです。ここにも『真の働き方改革』への道が示されているのです。

柳谷俊郎

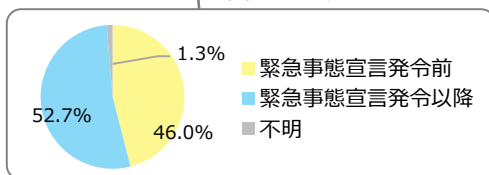
テレワークの実施率について

(前回調査期間：2020年3月13日-31日 今回調査期間：2020年5月29日-6月5日)

■テレワークの実施率



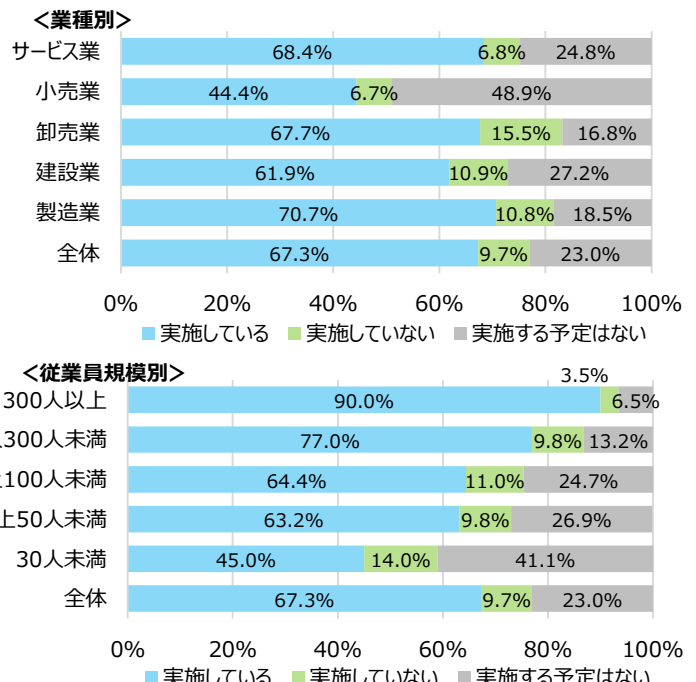
■テレワークの開始時期



■テレワーク実施率の変化

従業員規模	前回調査	今回調査	増加幅
300人以上	57.1%	90.0%	+32.9ポイント
100人以上300人未満	32.2%	77.0%	+44.8ポイント
50人以上100人未満	25.0%	64.4%	+39.4ポイント
30人以上50人未満	17.6%	63.2%	+45.6ポイント
30人未満	12.3%	45.0%	+32.7ポイント

■テレワークの実施率



出所：厚生労働省 第1回「これからのテレワークでの働き方に関する検討会」資料のデータに基づきあおぞら投信が作成。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号：あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第2771号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス：<http://www.aozora-im.co.jp/>